

---

# CHUGAI PHOTOGRAPHIC CHEMICALS

---

## <概要>

マイシリーズケミカルは、高品質で汎用性が広く、優れた処理剤です。  
これらの処理剤は、高品質な白黒フィルム／印画紙であれば、良好な結果が得られます。  
このシートでは、マイシリーズケミカルの種類と特長について記載してあります。

## <取り扱い>

写真用処理薬品は、基本的な注意事項を守り、説明書に従い、正しく使用すれば非常に安全な薬品です。  
各処理剤には、使用説明が記載されています。ご使用になる前に必ずお読みいただき、正しくご使用ください。  
さらに、ケミカルの安全な取り扱いに関し、“製品安全データシート”を用意しておりますので、ご入用の節はお問い合わせください。

## ■皿現像処理用白黒処理剤

### <攪拌>

皿現像によるプリント処理の攪拌は、連続攪拌にて行います。

## ●白黒印画紙用現像剤

### ・マイペーパーデベロッパ

マイペーパーデベロッパは、多階調印画紙および号数印画紙用として設計され、諸性能を最大限に引き出すことのできる優れた現像剤です。

希釈率は、標準使用の 1+9 希釈\*と現像液中で画像濃度をよりコントロールしたい、あるいは経済性を考慮した 1+14 希釈\*の 2 種類があります。

※:本文中の「希釈」で 1+9 とは、「原液 1 対水 9=10 倍希釈」、1+14 とは、「原液 1 対水 14=15 倍希釈」を意味します。

## ■RC 印画紙処理

現像剤	希釈	温度(°C)	時間(分)
マイペーパー デベロッパ	1+9	20	1
	1+14	20	1 1/2

標準希釈の 1+9 希釈にて、適正な露光がされたプリントは、約 10～15 秒後に画像が現れます。  
 その後、画像はゆるやかに形成され、高品質なプリントを得るためには、最低 45 秒の現像が必要です。  
 最高品質を必要としない場合は、オーバーめの露光を行い、最低 35 秒現像すればプリントは得られます。

■パライタ印画紙処理

現像剤	希釈	温度(°C)	時間(分)
マイペーパー デベロッパ	1+9	20	1 1/2 ~ 3
	1+14	20	2 ~ 5

標準使用の1+9希釈では、適正に露光されたプリントは約 35 秒後に画像が現れます。  
 現像時間は、コントラスト変化やカブリを発生することなく、最大6分まで延長することができます。

<皿現像用現像剤の処理能力>

■RC印画紙処理

現像剤	希釈	20.3×25.4cm (8×10in)
マイペーパー デベロッパ	1+9	100枚/ℓ
	1+14	70枚/ℓ

■パライタ印画紙処理

現像剤	希釈	20.3×25.4cm (8×10in)
マイペーパー デベロッパ	1+9	50枚/ℓ
	1+14	40枚/ℓ

●停止液

・マイストップバス

マイストップバスは、停止処理を必要とする全ての工程に使用可能な色彩指示停止剤です。  
 現像作用を停止させるとともにステインの発生を防止し、定着液の寿命を伸ばします。  
 目視にて疲労度を確認できますので、安心して能力限界まで使用できます。  
 停止能力を失うと液状が黄色から暗紫色に変化します。

**■フィルム処理**

停止剤	希釈	温度(°C)	時間(秒)
マイストップバス	1+39	20	30

**■RC 印画紙／バライタ印画紙処理**

停止剤	希釈	温度(°C)	時間(秒)
マイストップバス	1+39	18～24	5～10

## &lt;停止液処理能力&gt;

**■フィルム処理**

停止剤	希釈	135・36または120
マイストップバス	1+39	24本/ℓ

**■RC 印画紙処理**

停止剤	希釈	20.3×25.4cm (8×10in)
マイストップバス	1+39	145枚/ℓ

**■バライタ印画紙処理**

停止剤	希釈	20.3×25.4cm (8×10in)
マイストップバス	1+39	50枚/ℓ

**●白黒フィルム／印画紙用定着剤およびその他の処理剤****・マイフィクサー**

マイフィクサーは、フィルム／印画紙兼用の無硬膜タイプの迅速液体定着剤です。  
どのようなプロセスでも処理可能な、便利で取扱い易い定着剤です。

**・マイハーデナー(白黒フィルム用硬膜剤)**

マイハーデナーは、マイフィクサーに添加することで、硬膜タイプの定着剤にすることができる液体濃縮タイプの硬膜剤です。添加量は、マイフィクサー使用液10当り 25 ml です。  
マイハーデナーは、印画紙処理には使用できません。

### <フィルム処理>

1+4希釈使用で、通常の定着液より迅速な定着と大幅な水洗時間の短縮が可能となります。

攪拌条件は、現像液と同一です。

定着時間は、2~4分/20℃・平粒子タイプフィルムの場合3~5分/20℃です。

なお、フィルム処理において硬膜処理を望む場合、あるいは高温処理(30℃以上)を行なう場合には、別売品のマイハーデナーを添加してご使用ください。マイハーデナーを添加した場合の定着時間は4分/20℃・平粒子タイプフィルムの場合は5分/20℃となります。

### <RC 印画紙/バライタ印画紙処理>

迅速な定着と水洗時間の短縮が可能となります。

印画紙処理には、マイハーデナー(硬膜剤)は使用できません。

RC/バライタ印画紙ともに硬膜剤入り定着液による処理は、水洗効率を低下させますのでお薦めできません。

マイフィクサーは、無硬膜タイプの定着液です。

指定時間以上に定着時間を延長することは、何のメリット也没有ありません。

長い定着時間は水洗を不十分にし、また、減力作用により品質の低下をもたらす可能性があります。

#### ■フィルム処理

定着剤	希釈	温度(℃)	時間(分)
マイフィクサー	1+4	20	2 ~ 4 <sup>※1</sup>
			3 ~ 5 <sup>※2</sup>
			4 <sup>※3</sup>
			5 <sup>※4</sup>

※1:通常 ※2:平粒子フィルムの場合 ※3:通常(マイハーデナー添加時) ※4:平粒子フィルムの場合(マイハーデナー添加時)

#### ■RC印画紙処理

定着剤	希釈	温度(℃)	時間(分)
マイフィクサー	1+4	18 ~ 24	1/2

#### ■バライタ印画紙処理

定着剤	希釈	温度(℃)	時間(分)
マイフィクサー	1+4	18 ~ 24	1

## <定着液処理能力>

### ■フィルム処理

定着剤	希釈	135・36または120
マイフィクサー	1+4	24本/ℓ

### ■RC印画紙処理

定着剤	希釈	20.3×25.4cm (8×10in)
マイフィクサー	1+4	80枚/ℓ

プリントを長期保存する場合の処理能力は、20枚/ℓです。

### ■パライタ印画紙処理

定着剤	希釈	20.3×25.4cm (8×10in)
マイフィクサー	1+4	40枚/ℓ

プリントを長期保存する場合の処理能力は、10枚/ℓです。

## ●水洗処理

### ■フィルム処理

マイフィクサー(無硬膜タイプ定着液)を使用した場合の水洗時間は、処理温度の±5℃の流水にて5~10分です。マイフィクサーにマイハーデナーを添加した定着液およびその他の硬膜タイプの定着液を使用した場合の水洗時間は、15~20分となります。

※リール現像処理にて、マイフィクサー(マイハーデナー未使用)を使用する場合は、下記の水洗方法をお薦めします。

### <リール現像処理の場合>

この方法は、水洗水量が少なく迅速処理が可能であり、更にアーカイバル処理が可能となる優れた方法です。

1. リール現像処理を行ないます。
2. マイフィクサー(マイハーデナー未使用)にて定着処理を行ないます。
3. 定着後、処理液と同一温度の水を処理タンクに入れ、タンクの反転操作を繰り返し5回行ないます。
4. 水を廃棄して、再び水を入れてタンクの反転操作を繰り返し10回行ないます。
5. 再度水を廃棄して3回目の水を入れ、20回反転操作を繰り返します。

迅速で均一な乾燥となるように、最終水洗に水滴斑防止剤(中外・ウェットール)を添加してください。

### ■RC印画紙処理

	温度	時間(分)
流 水	5℃以上	2

できるだけ短時間でプリントを作成したい場合は、流水で 30 秒間、強く水洗してください。

RC印画紙の長時間の水洗は、エッジへの水の浸透による膜剥がれやカーリングの原因となりますので、15 分以上の水洗は避けてください。

### ■バライタ印画紙処理

	温度	時間(分)
流 水	5℃以上	60

指定の方法で 60 分の水洗を行えば、通常処理において水洗促進剤を使用する必要はありませんが、使用することにより水洗時間の短縮化とアーカイバル処理が可能となります。

### <アーカイバル処理>

バライタ印画紙処理につき、よりアーカイバルなプリントの保存(長期保存)を求める場合は、水洗促進剤を使用した下記の処理工程をお薦めします。

疲労した定着液の使用ならびに定着時間の延長は、水洗が不十分となり保存性に影響を与えます。

必ず指定された定着時間・処理能力(処理枚数)を守ってください。

### ●水洗促進剤

#### ・マイウォッシュアップ

マイウォッシュアップは、バライタ印画紙用の水洗促進剤として使用します。

マイウォッシュアップを使用することにより、大幅な水洗時間の短縮とアーカイバル処理が可能となります。

### ■アーカイバル処理工程

工程	処理剤等	希釈	時間(分)
定着	マイフィクサー	1+4	1
第一水洗	流 水	-	5
水洗促進	マイウォッシュアップ	1+4	10
最終水洗	流 水	-	5

処理温度は 18-24℃の範囲で行なってください。

## ●乾燥

最終水洗への水滴斑防止剤(中外・ウェットール)の添加により、迅速な乾燥と乾燥ムラの防止ができます。

フィルムは、乾燥ムラを残さないように乾燥前に、スポンジ等で余分な水を拭き取ります。

そして、30~40℃のドライキャビネットもしくはきれいなゴミのない場所で自然乾燥してください。

RC 印画紙は、RC 印画紙専用の乾燥機で乾燥するか、室温にて自然乾燥してください。

バライタ印画紙の乾燥は、プリントの両面をスクイズして余分な水を除去し、室温にて自然乾燥してください。

## ※参考

### ・ウェットール(水滴斑防止剤)

ウェットールは、フィルムや印画紙を乾燥する際に使用することで、水滴斑を防止し、乾燥ムラのない、きれいな仕上がりとなります。

また、乾燥時間が早まり、作業の効率化が図れるだけでなく、印画紙光沢面に艶を出し、きれいに仕上がります。

#### <標準処理条件>

フィルム、印画紙とも 1+199 希釈(0.5%溶液)に 30~60 秒浸けてから乾燥する。

#### <処理能力>

フィルム	135-36EX、120	約 35 本/ℓ
	4×5inch	約 100 枚/ℓ
印画紙	カビネ	約 130 枚/ℓ
	四切	約 25 枚/ℓ

## ●皿現像標準処理工程

### ■RC 印画紙処理

工程	処理剤等	希釈	温度	時間
現像	マイペーパー デベロッパ	1+9	20℃	60秒
		1+14	20℃	90秒
停止	マイストップバス	1+39	20℃	5~10秒
定着	マイフィクサー	1+4	20℃	30秒
水洗	流水	—	20℃	2分
乾燥	自然乾燥・温風乾燥・赤外乾燥			

■バライタ印画紙処理

工程	処理剤等	希釈	温度	時間
現像	マイペーパー デベロッパー	1+9	20℃	120秒
		1+14	20℃	180秒
停止	マイストップバス	1+39	20℃	5～10秒
定着	マイフィクサー	1+4	20℃	60秒
第一水洗	流水	—	20℃	2分
水洗促進浴	マイウオッシュアップ	1+4	20℃	10分
最終水洗	流水	—	20℃	5分
乾燥		自然乾燥		

販売元

 中外写真薬品株式会社

本社 東京都中央区日本橋本町 4-6-2

2012.04